



2025年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年2月6日

上場会社名 参天製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4536 URL <https://www.santen.com/ja>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO

(氏名) 伊藤 毅

問合せ先責任者 (役職名) IR室 室長

(氏名) 佐久間 ギヨム TEL 06-7664-8621

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績 (2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

コアベース

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上収益 | | コア営業利益 | | コア四半期利益 | | 親会社の所有者に 帰属する コア四半期利益 | | 基本的1株当たり コア四半期利益 | 希薄化後1株当たり コア四半期利益 |
|---------------|---------|------|--------|-------|---------|-------|-----------------------------|-------|---------------------|----------------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年3月期第3四半期 | 222,773 | △0.0 | 43,655 | △11.4 | 33,785 | △14.7 | 33,817 | △14.7 | 96.30 | 96.02 |
| 2024年3月期第3四半期 | 222,833 | 11.5 | 49,288 | 81.5 | 39,604 | 87.2 | 39,629 | 87.1 | 107.61 | 107.29 |

IFRS (フル) ベース

| | 売上収益 | | 営業利益 | | 税引前四半期利益 | | 四半期利益 | | 親会社の所有者に 帰属する四半期利益 | | 四半期包括利益 合計額 | |
|---------------|---------|------|--------|------|----------|-----|--------|-----|-----------------------|-----|----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年3月期第3四半期 | 222,773 | △0.0 | 35,195 | △2.7 | 35,309 | 5.2 | 27,348 | 2.9 | 27,465 | 3.2 | 27,185 | △17.5 |
| 2024年3月期第3四半期 | 222,833 | 11.5 | 36,157 | - | 33,559 | - | 26,580 | - | 26,613 | - | 32,948 | - |

| | 基本的1株当たり 四半期利益 | | 希薄化後1株当たり 四半期利益 | |
|---------------|-------------------|-------|--------------------|-------|
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年3月期第3四半期 | 78.21 | 77.98 | 77.98 | 77.98 |
| 2024年3月期第3四半期 | 72.26 | 72.05 | 72.05 | 72.05 |

(2) 連結財政状態

| | 資産合計 | | 資本合計 | | 親会社の所有者に 帰属する持分 | | 親会社所有者 帰属持分比率 | | 1株当たり親会社 所有者帰属持分 | |
|---------------|---------|---------|---------|---------|--------------------|--------|------------------|-----|---------------------|--|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 | 円 銭 | |
| 2025年3月期第3四半期 | 398,307 | 283,211 | 284,028 | 284,028 | 71.3 | 832.78 | | | | |
| 2024年3月期 | 435,699 | 305,369 | 306,055 | 306,055 | 70.2 | 843.24 | | | | |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期 | - | 16.00 | - | 17.00 | 33.00 |
| 2025年3月期 | - | 17.00 | - | - | - |
| 2025年3月期 (予想) | - | - | - | 19.00 | 36.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日 (2025年2月6日) 公表しました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

コアベース

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上収益 | | コア営業利益 | | コア当期利益 | | 基本的1株当たり コア当期利益 |
|----|---------|-----|--------|-------|--------|-------|--------------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 302,000 | 0.0 | 55,000 | △12.4 | 41,250 | △15.0 | 117.05 |

IFRS (フル) ベース

| | 売上収益 | | 営業利益 | | 税引前当期利益 | | 当期利益 | | 親会社の所有者に 帰属する当期利益 | | 基本的1株当たり 当期利益 |
|----|---------|-----|--------|------|---------|------|--------|------|----------------------|------|------------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 302,000 | 0.0 | 44,500 | 15.5 | 45,000 | 50.6 | 33,500 | 25.5 | 32,500 | 22.0 | 92.22 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

- IFRS (フル) ベースの数値からコアベースの数値への調整内容は、添付資料「1. 経営成績等の概況 (1) 当四半期の経営成績の概況 (P3参照)」をご覧ください。
- 2024年11月7日開催の取締役会において、自己株式の消却について決議し、2024年11月29日に消却しました。また、2024年11月7日開催の取締役会において決議した自己株式の取得について、2024年12月12日をもって終了しました。2025年2月6日開催の取締役会において、自己株式の消却について決議し、2025年2月28日に消却する予定です。2025年3月期の連結業績予想における「基本的1株当たりコア当期利益」及び「基本的1株当たり当期利益」については、当該自己株式の取得及び消却の影響を考慮していますが、2024年8月6日に公表した業績予想からの変更はありません。なお、当該自己株式の取得及び消却については添付資料「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (P13参照)」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2025年3月期3Q | 347,043,354株 | 2024年3月期 | 363,996,254株 |
| ② 期末自己株式数 | 2025年3月期3Q | 5,691,385株 | 2024年3月期 | 786,780株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2025年3月期3Q | 351,070,525株 | 2024年3月期3Q | 368,195,265株 |

（注）期末自己株式数には、株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式（2024年3月期 49,311株、2025年3月期3Q 59,329株）が含まれています。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいています。実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2025年2月6日（木）に証券アナリスト、機関投資家向けの第3四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。この説明会で使用する資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|--|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当四半期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当四半期の財政状態の概況 | 6 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 6 |
| 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 | 7 |
| (1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書 | 7 |
| (2) 要約四半期連結財政状態計算書 | 8 |
| (3) 要約四半期連結持分変動計算書 | 10 |
| (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 12 |
| (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 13 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 13 |
| (セグメント情報等) | 13 |
| (事業構造改革費用) | 13 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 13 |
| (重要な後発事象) | 14 |
| 3. 連結参考資料 | 15 |
| (1) 主要製品売上収益 | 15 |
| (2) 主要通貨為替レート | 15 |
| (3) 開発状況 | 16 |
| (4) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費並びに研究開発費 | 19 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

① 当第3四半期連結累計期間の業績の状況

(ア) コアベース ※1 (P3参照)

(単位：億円)

| | 前第3四半期 | 当第3四半期 | 対前年同期増減率 |
|-------------------------|--------|--------|----------|
| 売上収益 | 2,228 | 2,228 | △0.0% |
| コア営業利益 | 493 | 437 | △11.4% |
| コア四半期利益 | 396 | 338 | △14.7% |
| 親会社の所有者に帰属する コア四半期利益 | 396 | 338 | △14.7% |

[売上収益]

前年同期と横ばいの2,228億円となりました。

日本では薬価改定の影響やジクアスLX点眼液の自主回収の影響を受けたものの新製品や主力製品の拡大に注力、中国・アジア・EMEAでも主力製品が堅調に推移したことに加え為替影響もあり、前年同期と同水準となりました。

◇日本

6%台後半の薬価改定やジクアスLX点眼液の自主回収の影響はあったものの、2024年4月に販売を開始したアイリーア8mg硝子体内注射液114.3mg/mLや、同5月に販売を開始したアレジオン眼瞼クリーム0.5%等を含む主力製品の拡大に注力した結果、前年同期と比べ5.0%減少し、1,197億円となりました。主力製品（群）の売上は次のとおりです。

| | | |
|-------------------------------------|-------|-------------------|
| 「エイベリス点眼液」 | 36億円 | (対前年同期増減率 + 6.2%) |
| 「ジクアス点眼液 ^{※2} (P3参照)」 | 49億円 | (対前年同期増減率 △70.4%) |
| 「アレジオン類 ^{※3} (P3参照)」 | 156億円 | (対前年同期増減率 +36.1%) |
| 「アイリーア硝子体内注射液 ^{※4} (P3参照)」 | 603億円 | (対前年同期増減率 + 7.3%) |
| 一般用医薬品 | 82億円 | (対前年同期増減率 + 3.2%) |
| 医療機器 | 32億円 | (対前年同期増減率 +22.0%) |

◇中国

主力製品に注力した結果、円換算ベースで前年同期と比べ2.3%増加し（為替影響を除いた成長率は△3.7%）、231億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

| | | |
|------------|------|-------------------|
| 「ジクアス点眼液」 | 21億円 | (対前年同期増減率 △23.5%) |
| 「ヒアレイン点眼液」 | 67億円 | (対前年同期増減率 + 7.0%) |
| 「クラビット点眼液」 | 70億円 | (対前年同期増減率 △ 0.0%) |

◇アジア（中国除く）

韓国における医師ストライキの影響を受けたものの、下記主力製品等が堅調に推移し、円換算ベースで前年同期と比べ1.5%増加し（為替影響を除いた成長率は△2.0%）、223億円となりました。

| | | |
|-------------|------|-------------------|
| 「コソプト配合点眼液」 | 53億円 | (対前年同期増減率 + 3.6%) |
| 「クラビット点眼液」 | 22億円 | (対前年同期増減率 △16.5%) |

◇ EMEA

現地での領域別市場シェア一位の緑内障製品を中心に伸長し^{※5（P3参照）}、円換算ベースで前年同期と比べ14.8%増加し（為替影響を除いた成長率は+9.1%）、566億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

| | | | |
|-------------------|-------|-----------|---------|
| 「コソプト配合点眼液」 | 130億円 | （対前年同期増減率 | +19.2%） |
| 「タプロス点眼液」 | 66億円 | （対前年同期増減率 | +7.2%） |
| 「タプコム配合点眼液」 | 49億円 | （対前年同期増減率 | +15.2%） |
| 「Ikervis（アイケルビス）」 | 68億円 | （対前年同期増減率 | △19.3%） |
| 「プリザーフロ マイクロシヤント」 | 30億円 | （対前年同期増減率 | +31.1%） |

[コア営業利益]

売上総利益は、前年同期と比べ4.8%減少し、1,251億円となりました。

販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ1.0%増加し（為替影響を除いた対前年同期増減率は△2.5%）、647億円となりました。

研究開発費は、前年同期と比べ7.1%減少し（為替影響を除いた対前年同期増減率は△10.5%）、168億円となりました。

以上により、コアベースの営業利益は、前年同期と比べ11.4%減少し（為替影響を除いた対前年同期増減率は△12.8%）、437億円となりました。

※1 Santenグループでは2015年3月期のIFRS適用を機に、IFRSによる業績（「IFRS（フル）ベース」）から一部の収益及び費用を控除した「コアベース」での財務情報を事業活動自体の収益性を示す指標として開示しています。IFRS（フル）ベースによる業績からコアベースでの業績への調整において控除する以下の収益及び費用とそれらに係る法人所得税費用を調整し、コアベースを算出しています。

- ・製品に係る無形資産償却費
- ・その他の収益
- ・その他の費用
- ・金融収益
- ・金融費用
- ・持分法による投資損益
- ・企業買収に係る費用、並びに再成長のための生産性向上及び合理化等に係る費用

※2 ジクアスLX点眼液を含みます。

※3 アレジオン点眼液、アレジオンLX点眼液及びアレジオン眼瞼クリームを含みます。

※4 製造販売元であるバイエル薬品株式会社とのコ・プロモーション製品で、アイリーア8mg硝子体内注射液を含みます。

※5 出典：Copyright © 2025 IQVIA. IQVIA MIDAS 2023. 1Q-2023. 4Qを基に参天分析 無断転載禁止

（イ）IFRS（フル）ベース

（単位：億円）

| | 前第3四半期 | 当第3四半期 | 対前年同期増減率 |
|-----------------------|--------|--------|----------|
| 売上収益 | 2,228 | 2,228 | △0.0% |
| 営業利益 | 362 | 352 | △2.7% |
| 四半期利益 | 266 | 273 | 2.9% |
| 親会社の所有者に帰属する 四半期利益 | 266 | 275 | 3.2% |

[売上収益]

コアベースからの調整はありません。

[営業利益]

コアベースからの調整内容として、前第3四半期に米州の合理化に関する費用が、売上原価に2億円、販売費及び一般管理費に7億円、研究開発費に2億円それぞれ発生しました。

製品に係る無形資産償却費は、前年同期と比べ6.3%減少し（為替影響を除いた対前年同期増減率は△8.5%）、66億円となりました。これは主に、2014年にMerck & Co., Inc.（米国）から譲り受けた眼科製品及び2016年のInnFocus, Inc.（米国）買収に伴い取得したプリザーフロ マイクロシヤントに関する無形資産、並びに、2015年より欧州で販売を開始した「Ikervis（アイケルビス）」及び2023年より欧州で販売を開始した「Rhopressa / Rocklatan」に関する無形資産の償却によるものです。

その他の収益は、4億円となりました。

その他の費用は、22億円となりました。

これらにより、IFRS（フル）ベースの営業利益は前年同期と比べ2.7%減少し（為替影響を除いた対前年同期増減率は△4.1%）、352億円となりました。

[四半期利益]

金融収益は、14億円となりました。

金融費用は、13億円となりました。

法人所得税費用は、前年同期から10億円増加し、80億円となりました。これは主に、前期に在外子会社で認識した繰延税金資産の一部を取崩したことによるものです。

これらにより、四半期利益は前年同期と比べ2.9%増加し、273億円となりました。

[親会社の所有者に帰属する四半期利益]

親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期と比べ3.2%増加し、275億円となりました。売上収益に対するその比率は、12.3%となりました。

② 研究開発活動

<緑内障・高眼圧症領域>

プロスタグランジンF_{2α}誘導体及びβ遮断剤の配合剤STN1011101（DE-111A、一般名：タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩）は、中国で2022年12月に販売承認を申請しました。

EP2受容体作動薬STN1011702（一般名：オミデネバグ イソプロピル）は、中国で2024年11月に第Ⅲ相試験を開始しました。

FP/EP3受容体デュアル作動薬STN1012600（DE-126、一般名：セペタプロスト）は、米国で2021年12月に追加の第Ⅱ相試験を終了しました。日本では2024年9月に製造販売承認を申請しました。欧州では第Ⅱ相試験（探索的試験）を終了しました。

プロスタグランジンF_{2α}誘導体の乳化点眼剤STN1013001（DE-130A、一般名：ラタノプロスト）は、アジアで2024年11月に販売承認を申請しました。欧州では2024年8月にスペインなどで発売しました。

ROCK阻害剤STN1013900（AR-13324、一般名：ネタルスジルメシル酸塩）は、日本で2025年1月に第Ⅲ相試験を終了しました。欧州では販売承認を取得しており、2023年2月以降スウェーデンなどで販売しています。アジアでは順次販売承認を取得しており、2024年11月に韓国で発売しました。

ROCK阻害剤及びプロスタグランジンF_{2α}誘導体の配合剤STN1014000（PG-324、一般名：ネタルスジルメシル酸塩／ラタノプロスト）は、欧州で販売承認を取得しており、2023年1月以降ドイツなどで販売しています。アジアでは順次販売承認を申請しており、2023年1月以降タイなどで販売承認を取得しています。

<角結膜疾患（ドライアイを含む）領域>

春季カタルを対象とするSTN1007603（DE-076C、一般名：シクロスポリン）は、既に承認・販売されている欧州、アジアに続き、中国で2022年4月に販売承認を取得しました。

ドライアイを対象とするSTN1008903（DE-089C、一般名：ジクアホソルナトリウム）は、日本で2022年11月に発売しました。アジアでは、2024年3月に韓国で販売承認を取得しましたが、2024年8月に取り下げました。

ドライアイを対象とするSTN1014100（一般名：オロダテロール塩酸塩）は、日本で2024年3月に第Ⅰ相／前期第Ⅱ相試験を終了しました。

フックス角膜内皮ジストロフィを対象としてアクチュアライズ株式会社と共同開発契約を締結しているSTN1010904*（一般名：シロリムス）は、米国、フランス、インドで2022年5月から前期第Ⅱ相試験を実施しています。（*開発コード（STN1010904）は、第Ⅱ相試験終了時に当社が独占の実施権を獲得した後に附番予定のコードです。）

マイボーム腺機能不全を対象とするSTN1010905（一般名：シロリムス）は、日本で2024年6月に追加の前期第Ⅱ相試験を開始しました。

アレルギー性結膜炎を対象とする眼瞼クリーム製剤STN1011402（一般名：エピナスチン塩酸塩）は、日本で2024年5月に発売しました。

アレルギー性結膜炎を対象とする1日2回点眼の高用量製剤STN1011403（一般名：エピナスチン塩酸塩）は、中国で2024年11月に第Ⅲ相試験を終了しました。

<屈折異常領域>

小児における近視を対象とするSTN1012700（DE-127、一般名：アトロピン硫酸塩）は、日本で2024年12月に製造販売承認を取得しました。中国では2022年6月から第Ⅱ／Ⅲ相試験を実施しています。アジアでは2020年4月に第Ⅱ相試験を終了しました。

小児における近視を対象とするSTN1012701（SYD-101、一般名：アトロピン硫酸塩）は、導入元であるSydnexis Inc.（米国）により欧州及び米国で第Ⅲ相試験が実施されています。当社は、欧州、中東及びアフリカ地域における独占ライセンス権を保有しており、欧州で2024年3月に販売承認を申請しました。

近視を対象とするSTN1013400（化合物名：AFDX0250BS）は、日本で2023年5月から前期第Ⅱ相試験を実施しています。中国では2024年3月に第Ⅰ相試験を終了しました。

<その他の領域>

眼瞼下垂を対象とするSTN1013800（一般名：オキシメタゾリン塩酸塩）は、日本で2024年12月に製造販売承認を申請しました。欧州では2024年12月に第Ⅲ相試験を開始しました。中国では2024年10月に第Ⅲ相試験を開始しました。

※開発コードの附番方法変更に伴い、新開発コード（STNXXXXXX）及び既存開発コード（DE-XXX）を併記しています。なお、AR-13324及びPG-324はAlcon Inc.（スイス）、SYD-101はSydnexis Inc.（米国）での開発コードです。

（2）当四半期の財政状態の概況

① 資産、資本及び負債の状況

当第3四半期末の資産は、3,983億円となりました。製商品等の棚卸資産の増加などがあった一方、営業債権流動化等運転資金の圧縮に取り組んだことに加えて、資本再構成のための自己株式取得等への現金支出などにより前期末と比べ374億円減少しました。

資本は、2,832億円となりました。自己株式の取得による資本圧縮効果やその他の資本の構成要素の減少などにより前期末と比べ222億円減少しました。

負債は、1,151億円となりました。営業債務及びその他の債務の減少及び法人所得税等の支払などにより前期末と比べ152億円減少しました。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前期末と比べ1.1ポイント増加し、71.3%となりました。

なお、SantenグループではROE（親会社所有者帰属持分利益率）を最重要指標に、キャッシュ・フローの最大化と資本コストの低減の両面から株主価値最大化に取り組んでいます。キャッシュの源泉としては営業活動から得られるインフローを基本としつつ、キャッシュ・コンバージョン・サイクル管理により運転資本の効率を高めることでキャッシュ創出力の最大化に取り組めます。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、420億円の収入（前年同期は594億円の収入）となりました。四半期利益273億円、減価償却費及び償却費135億円、営業債権及びその他の債権の減少219億円、並びに法人所得税の支払額107億円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、72億円の支出（前年同期は57億円の支出）となりました。有形固定資産の取得による支出57億円及び無形資産の取得による支出25億円などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、524億円の支出（前年同期は313億円の支出）となりました。自己株式の取得による支出379億円及び配当金の支払額120億円などによるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は、前期末と比べ167億円減少し、779億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の業績は、概ね予定通り推移しており、2024年8月6日に公表した業績予想からの変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日) |
|-------------------------------|--|--|
| 売上収益 | 222,833 | 222,773 |
| 売上原価 | △91,600 | △97,642 |
| 売上総利益 | 131,233 | 125,130 |
| 販売費及び一般管理費 | △64,749 | △64,702 |
| 研究開発費 | △18,208 | △16,773 |
| 製品に係る無形資産償却費 | △7,083 | △6,638 |
| その他の収益 | 1,366 | 384 |
| その他の費用 | △6,401 | △2,206 |
| 営業利益 | 36,157 | 35,195 |
| 金融収益 | 1,313 | 1,429 |
| 金融費用 | △981 | △1,316 |
| 持分法による投資損失 | △2,930 | — |
| 税引前四半期利益 | 33,559 | 35,309 |
| 法人所得税費用 | △6,979 | △7,961 |
| 四半期利益 | 26,580 | 27,348 |
| その他の包括利益 | | |
| 純損益に振り替えられない項目： | | |
| その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動 | △577 | △2,221 |
| 純損益に振り替えられる可能性のある項目： | | |
| 在外営業活動体の換算差額 | 6,341 | 1,928 |
| キャッシュ・フロー・ヘッジ | △29 | 15 |
| 持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分 | 635 | 115 |
| その他の包括利益 | 6,369 | △163 |
| 四半期包括利益合計 | 32,948 | 27,185 |
| 四半期利益の帰属 | | |
| 親会社の所有者持分 | 26,613 | 27,465 |
| 非支配持分 | △33 | △117 |
| 四半期利益 | 26,580 | 27,348 |
| 四半期包括利益合計の帰属 | | |
| 親会社の所有者持分 | 33,002 | 27,318 |
| 非支配持分 | △53 | △132 |
| 四半期包括利益合計 | 32,948 | 27,185 |
| 1株当たり四半期利益 | | |
| 基本的1株当たり四半期利益（円） | 72.26 | 78.21 |
| 希薄化後1株当たり四半期利益（円） | 72.05 | 77.98 |
| <コアベース> | | |
| 売上収益 | 222,833 | 222,773 |
| コア営業利益 | 49,288 | 43,655 |
| コア四半期利益 | 39,604 | 33,785 |
| 基本的1株当たりコア四半期利益（円） | 107.61 | 96.30 |
| 希薄化後1株当たりコア四半期利益（円） | 107.29 | 96.02 |
| コア四半期利益の帰属 | | |
| 親会社の所有者持分 | 39,629 | 33,817 |
| 非支配持分 | △25 | △31 |
| コア四半期利益 | 39,604 | 33,785 |

（2）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日) |
|-----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産 | | |
| 非流動資産 | | |
| 有形固定資産 | 71,576 | 74,387 |
| 無形資産 | 83,819 | 79,612 |
| 金融資産 | 21,832 | 17,461 |
| 退職給付に係る資産 | 7,165 | 6,719 |
| 持分法で会計処理されている投資 | 2,574 | 2,689 |
| 繰延税金資産 | 10,765 | 10,230 |
| その他の非流動資産 | 1,829 | 2,071 |
| 非流動資産合計 | 199,560 | 193,169 |
| 流動資産 | | |
| 棚卸資産 | 43,185 | 49,998 |
| 営業債権及びその他の債権 | 90,539 | 69,066 |
| その他の金融資産 | 379 | 835 |
| 未収法人所得税 | — | 189 |
| その他の流動資産 | 7,453 | 7,200 |
| 現金及び現金同等物 | 94,582 | 77,851 |
| 流動資産合計 | 236,139 | 205,138 |
| 資産合計 | 435,699 | 398,307 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日) |
|------------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資本 | | |
| 親会社の所有者に帰属する持分 | | |
| 資本金 | 8,777 | 8,797 |
| 資本剰余金 | 9,854 | 9,596 |
| 自己株式 | △1,018 | △9,580 |
| 利益剰余金 | 240,029 | 227,374 |
| その他の資本の構成要素 | 48,411 | 47,842 |
| 親会社の所有者に帰属する持分合計 | 306,055 | 284,028 |
| 非支配持分 | △685 | △817 |
| 資本合計 | 305,369 | 283,211 |
| 負債 | | |
| 非流動負債 | | |
| 金融負債 | 32,439 | 31,580 |
| 退職給付に係る負債 | 1,292 | 1,338 |
| 未払法人所得税等 | — | 602 |
| 引当金 | 687 | 717 |
| 繰延税金負債 | 1,377 | 556 |
| その他の非流動負債 | 1,739 | 1,775 |
| 非流動負債合計 | 37,534 | 36,567 |
| 流動負債 | | |
| 営業債務及びその他の債務 | 43,531 | 35,791 |
| その他の金融負債 | 25,711 | 23,860 |
| 未払法人所得税等 | 5,127 | 1,086 |
| 引当金 | 1,783 | 1,374 |
| その他の流動負債 | 16,643 | 16,418 |
| 流動負債合計 | 92,796 | 78,529 |
| 負債合計 | 130,329 | 115,096 |
| 資本及び負債合計 | 435,699 | 398,307 |

（3）要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

（単位：百万円）

| | 資本金 | 資本剰余金 | 自己株式 | 利益剰余金 | その他の資本の構成要素 | | |
|---------------|-------|-------|---------|---------|-------------|-------------------------------|--------------|
| | | | | | 確定給付制度の再測定 | その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動 | 在外営業活動体の換算差額 |
| 2023年4月1日残高 | 8,702 | 9,789 | △364 | 238,071 | — | 7,917 | 27,971 |
| 四半期包括利益 | | | | | | | |
| 四半期利益 | | | | 26,613 | | | |
| その他の包括利益 | | | | | | △577 | 6,361 |
| 四半期包括利益合計 | — | — | — | 26,613 | — | △577 | 6,361 |
| 所有者との取引額 | | | | | | | |
| 新株の発行 | 66 | 66 | | | | | |
| 自己株式の取得 | | △20 | △16,933 | | | | |
| 自己株式の処分 | | 1 | 900 | | | | |
| 配当金 | | | | △11,881 | | | |
| 株式報酬取引 | | △327 | | | | | |
| その他 | | | | 364 | | △364 | |
| 所有者との取引額合計 | 66 | △280 | △16,033 | △11,517 | — | △364 | — |
| 2023年12月31日残高 | 8,769 | 9,509 | △16,398 | 253,167 | — | 6,976 | 34,332 |

| | その他の資本の構成要素 | | | | 親会社の所有者に帰属する持分合計 | 非支配持分 | 資本合計 |
|---------------|---------------|---------------------------|-------|--------|------------------|-------|---------|
| | キャッシュ・フロー・ヘッジ | 持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分 | 新株予約権 | 合計 | | | |
| 2023年4月1日残高 | — | 1,562 | 331 | 37,781 | 293,979 | △683 | 293,297 |
| 四半期包括利益 | | | | | | | |
| 四半期利益 | | | | — | 26,613 | △33 | 26,580 |
| その他の包括利益 | △29 | 635 | | 6,389 | 6,389 | △20 | 6,369 |
| 四半期包括利益合計 | △29 | 635 | — | 6,389 | 33,002 | △53 | 32,948 |
| 所有者との取引額 | | | | | | | |
| 新株の発行 | | | △133 | △133 | 0 | | 0 |
| 自己株式の取得 | | | | — | △16,953 | | △16,953 |
| 自己株式の処分 | | | | — | 901 | | 901 |
| 配当金 | | | | — | △11,881 | | △11,881 |
| 株式報酬取引 | | | | — | △327 | | △327 |
| その他 | | | | △364 | — | | — |
| 所有者との取引額合計 | — | — | △133 | △496 | △28,261 | — | △28,261 |
| 2023年12月31日残高 | △29 | 2,197 | 198 | 43,673 | 298,720 | △736 | 297,984 |

当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

（単位：百万円）

| | 資本金 | 資本剰余金 | 自己株式 | 利益剰余金 | その他の資本の構成要素 | | |
|------------------|-------|---------|---------|---------|-------------|-------------------------------|--------------|
| | | | | | 確定給付制度の再測定 | その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動 | 在外営業活動体の換算差額 |
| 2024年4月1日残高 | 8,777 | 9,854 | △1,018 | 240,029 | — | 5,481 | 40,306 |
| 四半期包括利益 | | | | | | | |
| 四半期利益 | | | | 27,465 | | | |
| その他の包括利益 | | | | | | △2,221 | 1,944 |
| 四半期包括利益合計 | — | — | — | 27,465 | — | △2,221 | 1,944 |
| 所有者との取引額 | | | | | | | |
| 新株の発行 | 19 | 19 | | | | | |
| 自己株式の取得 | | △46 | △37,836 | | | | |
| 自己株式の処分 | | 8 | 875 | | | | |
| 自己株式の消却 | | △28,400 | 28,400 | | | | |
| 利益剰余金から資本剰余金への振替 | | 28,392 | | △28,392 | | | |
| 配当金 | | | | △12,112 | | | |
| 株式報酬取引 | | △231 | | | | | |
| その他 | | | | 384 | | △384 | |
| 所有者との取引額合計 | 19 | △258 | △8,562 | △40,120 | — | △384 | — |
| 2024年12月31日残高 | 8,797 | 9,596 | △9,580 | 227,374 | — | 2,876 | 42,249 |

| | その他の資本の構成要素 | | | | 親会社の所有者に帰属する持分合計 | 非支配持分 | 資本合計 |
|------------------|---------------|---------------------------|-------|--------|------------------|-------|---------|
| | キャッシュ・フロー・ヘッジ | 持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分 | 新株予約権 | 合計 | | | |
| 2024年4月1日残高 | △20 | 2,464 | 181 | 48,411 | 306,055 | △685 | 305,369 |
| 四半期包括利益 | | | | | | | |
| 四半期利益 | | | | — | 27,465 | △117 | 27,348 |
| その他の包括利益 | 15 | 115 | | △147 | △147 | △15 | △163 |
| 四半期包括利益合計 | 15 | 115 | — | △147 | 27,318 | △132 | 27,185 |
| 所有者との取引額 | | | | | | | |
| 新株の発行 | | | △38 | △38 | 0 | | 0 |
| 自己株式の取得 | | | | — | △37,883 | | △37,883 |
| 自己株式の処分 | | | | — | 882 | | 882 |
| 自己株式の消却 | | | | — | — | | — |
| 利益剰余金から資本剰余金への振替 | | | | — | — | | — |
| 配当金 | | | | — | △12,112 | | △12,112 |
| 株式報酬取引 | | | | — | △231 | | △231 |
| その他 | | | | △384 | — | | — |
| 所有者との取引額合計 | — | — | △38 | △422 | △49,344 | — | △49,344 |
| 2024年12月31日残高 | △5 | 2,580 | 142 | 47,842 | 284,028 | △817 | 283,211 |

（4）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 前第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日） | 当第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日） |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 四半期利益 | 26,580 | 27,348 |
| 減価償却費及び償却費 | 13,618 | 13,549 |
| 減損損失 | 2 | 200 |
| 事業構造改革費用 | 5,806 | — |
| 持分法による投資損益（△は益） | 2,930 | — |
| 受取利息、受取配当金及び支払利息（△は益） | △347 | △459 |
| 法人所得税費用 | 6,979 | 7,961 |
| 営業債権及びその他の債権の増減（△は増加） | 23,352 | 21,862 |
| 棚卸資産の増減（△は増加） | △6,358 | △6,267 |
| 営業債務及びその他の債務の増減（△は減少） | △255 | △7,793 |
| 引当金及び退職給付に係る負債の増減（△は減少） | △2,338 | 116 |
| その他の流動資産の増減（△は増加） | △1,238 | △104 |
| 未払賞与の増減（△は減少） | △1,703 | △2,762 |
| 未払金の増減（△は減少） | △3,886 | △6,591 |
| 預り金の増減（△は減少） | 6,977 | 2,679 |
| その他 | 682 | 2,623 |
| 小計 | 70,802 | 52,363 |
| 利息の受取額 | 264 | 748 |
| 配当金の受取額 | 486 | 413 |
| 利息の支払額 | △562 | △773 |
| 法人所得税の支払額 | △11,550 | △10,714 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 59,440 | 42,038 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 投資の取得による支出 | △293 | △2 |
| 投資の売却による収入 | 768 | 1,294 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △6,008 | △5,735 |
| 無形資産の取得による支出 | △811 | △2,520 |
| 無形資産の売却による収入 | 790 | — |
| 持分法で会計処理される投資の取得による支出 | △207 | — |
| その他 | 32 | △285 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △5,729 | △7,247 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △318 | △159 |
| 自己株式の取得による支出 | △16,962 | △37,883 |
| 配当金の支払額 | △11,792 | △12,044 |
| リース負債の返済による支出 | △2,466 | △2,361 |
| その他 | 217 | 0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △31,320 | △52,446 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 22,390 | △17,656 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 57,903 | 94,582 |
| 現金及び現金同等物の為替変動による影響 | 1,737 | 925 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 82,030 | 77,851 |

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

Santenグループは、単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しています。

(事業構造改革費用)

前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

前第3四半期連結累計期間に日本における早期退職特別支援プログラムに伴う退職特別加算金及び米州における医薬品販売事業の最大限合理化等で5,806百万円の事業構造改革費用を計上しており、要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書の「その他の費用」に計上していません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

(自己株式の取得)

当社は、2023年5月11日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議しました。

これにより、2023年5月12日から2023年12月31日までに12,571,400株を総額16,178百万円で取得しました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

利益還元強化と資本効率の更なる向上を図るために行うものです。

(2) 取得に係る事項の内容

- | | |
|--------------|---|
| ① 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| ② 取得しうる株式の総数 | 18,750,000株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合5.0%） |
| ③ 株式の取得価額の総額 | 245億円（上限） |
| ④ 取得期間 | 2023年5月12日～2024年3月22日 |
| ⑤ 取得方法 | 取引一任方式による市場買付け |

当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(自己株式の取得)

当社は、2024年5月9日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議しました。

これにより、2024年5月10日から2024年11月6日までに16,985,400株を総額28,645百万円で取得しました。なお、当該決議に基づく自己株式の取得は、2024年11月6日（約定ベース）をもって終了しました。

また、当社は、2024年11月7日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議しました。

これにより、2024年11月8日から2024年12月12日までに5,000,000株を総額8,490百万円で取得しました。なお、当該決議に基づく自己株式の取得は、2024年12月12日（約定ベース）をもって終了しました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

2023年4月13日発表の中期経営計画（2023-2025年度）における資本配分の方針に基づき、収益力の改善や事業環境などを総合的に勘案し、利益還元強化と資本効率の更なる向上を図るために行うものです。

（2）取得に係る事項の内容

- ① 取得対象株式の種類 当社普通株式
- ② 取得しうる株式の総数 5,000,000株（上限）
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 1.4%）
- ③ 株式の取得価額の総額 100億円（上限）
- ④ 取得期間 2024年11月8日～2025年3月21日
- ⑤ 取得方法 取引一任方式による市場買付け

（自己株式の消却）

当社は、2024年11月7日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却に係る事項について決議し、2024年11月29日に消却を行いました。

なお、今回消却した自己株式は、2024年5月9日開催の取締役会決議に基づき取得した自己株式になります。

- ① 消却した株式の種類 当社普通株式
- ② 消却した株式の総数 16,985,400株
（消却前の発行済株式総数に対する割合 4.7%）
- ③ 消却実施日 2024年11月29日

（重要な後発事象）

自己株式の消却に係る事項の決定（会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却）

当社は、2025年2月6日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却に係る事項について決議しました。

なお、今回消却する自己株式は、2024年11月7日開催の取締役会決議に基づき取得した自己株式になります。

- ① 消却する株式の種類 当社普通株式
- ② 消却する株式の総数 5,000,000株
（消却前の発行済株式総数に対する割合 1.4%）
- ③ 消却予定日 2025年2月28日

3. 連結参考資料
 (1) 主要製品売上収益

(単位：百万円)

| 品目名 | 地域 | 2024年3月期 | | | | 2025年3月期 | | | |
|--|-------|---------------|------------|----------|------------|---------------|------------|--------|------------|
| | | 第3四半期 累計実績 | 対前年 伸長率 | 通期 実績 | 対前年 伸長率 | 第3四半期 累計実績 | 対前年 伸長率 | 通期見込 | 対前年 伸長率 |
| 緑内障・高眼圧症治療剤領域 | | | | | | | | | |
| コソプト配合点眼液 | 合計 | 19,182 | 6.0% | 25,609 | 8.0% | 20,437 | 6.5% | 26,406 | 3.1% |
| | 日本 | 3,148 | △15.1% | 3,955 | △15.4% | 2,117 | △32.7% | 2,411 | △39.0% |
| | アジア | 5,114 | 14.9% | 6,882 | 12.6% | 5,299 | 3.6% | 7,117 | 3.4% |
| | EMEA | 10,920 | 10.0% | 14,772 | 14.4% | 13,021 | 19.2% | 16,879 | 14.3% |
| タプロス点眼液 | 合計 | 14,069 | △3.1% | 18,521 | △1.2% | 12,926 | △8.1% | 17,105 | △7.6% |
| | 日本 | 4,910 | △19.2% | 5,937 | △23.5% | 2,751 | △44.0% | 3,537 | △40.4% |
| | 中国 | 1,234 | 57.2% | 1,774 | 69.7% | 1,772 | 43.6% | 2,181 | 22.9% |
| | アジア | 1,750 | 5.2% | 2,386 | 4.8% | 1,782 | 1.8% | 2,753 | 15.4% |
| EMEA | 6,175 | 3.0% | 8,424 | 10.0% | 6,621 | 7.2% | 8,634 | 2.5% | |
| タプコム配合点眼液 | 合計 | 7,019 | 10.8% | 9,234 | 12.6% | 7,355 | 4.8% | 9,863 | 6.8% |
| | 日本 | 1,795 | △13.3% | 2,192 | △17.3% | 1,278 | △28.8% | 1,563 | △28.7% |
| | アジア | 965 | 24.2% | 1,332 | 26.8% | 1,171 | 21.4% | 1,598 | 20.0% |
| | EMEA | 4,259 | 22.1% | 5,710 | 26.8% | 4,906 | 15.2% | 6,702 | 17.4% |
| トルソプト点眼液 | 合計 | 3,791 | 2.9% | 4,927 | 0.9% | 3,841 | 1.3% | 5,012 | 1.7% |
| | 日本 | 692 | △11.1% | 872 | △11.1% | 626 | △9.6% | 766 | △12.1% |
| | アジア | 332 | 4.0% | 449 | △1.0% | 327 | △1.4% | 450 | 0.0% |
| | EMEA | 2,767 | 6.9% | 3,606 | 4.6% | 2,888 | 4.4% | 3,797 | 5.3% |
| エイベリス点眼液 | 合計 | 3,679 | 16.0% | 4,846 | 16.6% | 4,063 | 10.4% | 5,029 | 3.8% |
| | 日本 | 3,374 | 12.7% | 4,345 | 11.3% | 3,582 | 6.2% | 4,411 | 1.5% |
| | アジア | 305 | 72.3% | 430 | 71.5% | 480 | 57.4% | 618 | 43.7% |
| 角結膜疾患治療剤領域 | | | | | | | | | |
| ジクアス点眼液 | 合計 | 10,248 | △24.0% | 12,610 | △23.0% | 8,563 | △16.4% | 12,232 | △3.0% |
| | 日本 | 5,532 | △43.9% | 6,832 | △41.3% | 4,866 | △12.0% | 6,831 | △0.0% |
| | 中国 | 2,778 | 25.8% | 3,315 | 19.6% | 2,125 | △23.5% | 3,039 | △8.3% |
| | アジア | 1,938 | 36.2% | 2,463 | 25.9% | 1,573 | △18.8% | 2,362 | △4.1% |
| ジクアスLX点眼液 | 合計 | 10,894 | 393.3% | 13,251 | 186.8% | — | △100.0% | — | △100.0% |
| | 日本 | 10,894 | 393.3% | 13,251 | 186.8% | — | △100.0% | — | △100.0% |
| ヒアレイン点眼液 | 合計 | 12,878 | 10.7% | 17,134 | 15.9% | 13,306 | 3.3% | 19,210 | 12.1% |
| | 日本 | 4,087 | △8.9% | 5,184 | △9.3% | 3,715 | △9.1% | 4,411 | △14.9% |
| | 中国 | 6,297 | 27.0% | 8,808 | 36.9% | 6,736 | 7.0% | 10,626 | 20.6% |
| | アジア | 2,494 | 13.8% | 3,142 | 19.4% | 2,854 | 14.4% | 4,173 | 32.8% |
| Ikervis (アイケルビス) | 合計 | 9,777 | 78.8% | 12,105 | 77.0% | 8,293 | △15.2% | 11,914 | △1.6% |
| | アジア | 1,399 | 18.0% | 1,933 | 24.8% | 1,535 | 9.7% | 2,498 | 29.2% |
| | EMEA | 8,378 | 95.6% | 10,172 | 92.3% | 6,758 | △19.3% | 9,416 | △7.4% |
| Cationorm (カチオノーム) | 合計 | 3,281 | △0.2% | 4,526 | 12.9% | 3,460 | 5.5% | 4,829 | 6.7% |
| | 中国 | — | — | 73 | — | 204 | — | 251 | 242.9% |
| | アジア | 429 | 25.9% | 623 | 41.2% | 623 | 45.2% | 994 | 59.4% |
| EMEA | 2,219 | 3.7% | 2,923 | 11.3% | 2,380 | 7.2% | 3,351 | 14.7% | |
| 抗アレルギー点眼剤領域 | | | | | | | | | |
| アレジオン類 (アレジオン点眼液、アレジオンLX点眼液及びアレジオン眼輪クリーム) | 合計 | 11,635 | △4.3% | 29,489 | △12.1% | 15,847 | 36.2% | 30,659 | 4.0% |
| | 日本 | 11,495 | △4.5% | 29,305 | △12.3% | 15,643 | 36.1% | 30,421 | 3.8% |
| | アジア | 140 | 21.8% | 184 | 23.1% | 204 | 46.2% | 238 | 29.5% |
| Verkazia (ベルカジア) | 合計 | 1,283 | 66.5% | 1,491 | 63.1% | 1,472 | 14.7% | 1,536 | 3.0% |
| EMEA | 982 | 63.6% | 1,181 | 57.9% | 1,450 | 47.6% | 1,514 | 28.2% | |
| 網膜疾患治療剤領域 | | | | | | | | | |
| アイリーア硝子体内注射液 (アイリーア8mg硝子体内注射液を含む) | 合計 | 56,199 | 2.7% | 72,716 | 2.0% | 60,308 | 7.3% | 76,667 | 5.4% |
| | 日本 | 56,199 | 2.7% | 72,716 | 2.0% | 60,308 | 7.3% | 76,667 | 5.4% |
| 眼感染症治療剤領域 | | | | | | | | | |
| クラビット点眼液 | 合計 | 11,750 | 43.1% | 14,703 | 29.2% | 11,027 | △6.2% | 14,657 | △0.3% |
| | 日本 | 911 | △10.8% | 1,126 | △12.4% | 572 | △37.2% | 674 | △40.2% |
| | 中国 | 7,035 | 64.0% | 8,837 | 40.1% | 7,033 | △0.0% | 9,047 | 2.4% |
| | アジア | 2,658 | 49.2% | 3,240 | 36.2% | 2,220 | △16.5% | 3,223 | △0.5% |
| EMEA | 1,145 | 2.1% | 1,499 | 6.5% | 1,202 | 4.9% | 1,712 | 14.2% | |
| 医療機器 | | | | | | | | | |
| レンティス コンフォート | 合計 | 982 | △1.7% | 1,262 | △5.2% | 832 | △15.3% | 1,180 | △6.5% |
| | 日本 | 982 | △1.7% | 1,262 | △5.2% | 832 | △15.3% | 1,180 | △6.5% |
| プリザーフロ マイクロシャント | 合計 | 2,801 | 61.6% | 4,144 | 70.6% | 4,213 | 50.4% | 6,142 | 48.2% |
| | 日本 | 462 | — | 758 | 710.0% | 1,131 | 144.6% | 1,566 | 106.5% |
| | アジア | 47 | — | 65 | 640.6% | 77 | 62.8% | 259 | 295.4% |
| | EMEA | 2,292 | 34.2% | 3,320 | 42.7% | 3,005 | 31.1% | 4,317 | 30.0% |
| 一般用医薬品 | 合計 | 8,825 | 8.2% | 11,242 | 5.8% | 8,985 | 1.8% | 11,161 | △0.7% |
| | 日本 | 7,927 | 8.2% | 10,096 | 5.2% | 8,180 | 3.2% | 9,987 | △1.1% |
| | 中国 | 230 | 18.0% | 310 | 18.5% | 178 | △22.8% | 317 | 2.2% |
| | アジア | 668 | 4.7% | 836 | 8.4% | 627 | △6.0% | 857 | 2.5% |

(2) 主要通貨為替レート

(単位：円)

| 通貨 | 2024年3月期 第3四半期 | 2024年3月期 | 2025年3月期 第3四半期 | 2025年3月期 (予想) |
|------|-------------------|----------|-------------------|------------------|
| USドル | 143.61 | 144.80 | 152.63 | 155.00 |
| ユーロ | 155.60 | 156.88 | 164.96 | 165.00 |
| 中国元 | 20.07 | 20.24 | 21.33 | 21.30 |

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。通期見込については想定為替レートで換算して表示しています。なお、地域別は主要国地域を記載しています。

（3）開発状況

2025年1月時点

■開発状況一覧表（臨床段階）

<緑内障・高眼圧症領域>

| 一般名 | 開発コード | 効能・効果 | 自社／導入等 | 地域 | フェーズ1 | フェーズ2 | フェーズ3 | 申請 | 承認 | 発売 |
|--|----------------------|----------|----------|----|-------|-------|-------|----------|----|----|
| タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩 | STN1011101 / DE-111A | 緑内障・高眼圧症 | AGCと共同開発 | 中国 | | | | 2022年12月 | | |
| プロスタグランジンF _{2α} 誘導体及びβ遮断剤の配合剤。2014年11月、日本で発売。2015年1月以降、欧州で順次発売。2016年4月以降、アジアで順次発売。中国で、2022年12月に販売承認を申請。 | | | | | | | | | | |

| 一般名 | 開発コード | 効能・効果 | 自社／導入等 | 地域 | フェーズ1 | フェーズ2 | フェーズ3 | 申請 | 承認 | 発売 |
|--|------------|----------|----------|----|-------|-------|-------|----|----|----|
| オミデネパグイソプロピル | STN1011702 | 緑内障・高眼圧症 | UBEと共同開発 | 中国 | | | | | | |
| 日本、アジアにて販売している新規メカニズムのEP2受容体作動薬の1回使い切り防腐剤フリー点眼剤。中国で、2024年11月にフェーズ3試験を開始。 | | | | | | | | | | |

| 一般名 | 開発コード | 効能・効果 | 自社／導入等 | 地域 | フェーズ1 | フェーズ2 | フェーズ3 | 申請 | 承認 | 発売 |
|--|---------------------|----------|--------|----|---------|-------|-------|---------|----|----|
| セペタプロスト | STN1012600 / DE-126 | 緑内障・高眼圧症 | 小野薬品工業 | 米国 | | | | | | |
| | | | | 日本 | | | | 2024年9月 | | |
| | | | | 欧州 | (探索的試験) | | | | | |
| FP受容体及びEP3受容体への作動作用（デュアル作動薬）を有する新規メカニズムのプロスタグランジン誘導体の緑内障・高眼圧症治療剤。米国で、2021年12月に追加のフェーズ2試験を終了。日本で、2024年9月に製造販売承認を申請。欧州で、フェーズ2試験（探索的試験）を終了。 | | | | | | | | | | |

| 一般名 | 開発コード | 効能・効果 | 自社／導入等 | 地域 | フェーズ1 | フェーズ2 | フェーズ3 | 申請 | 承認 | 発売 |
|---|-----------------------------------|----------|--------|-----|-------|-------|-------|----------|----|---------|
| ラタノプロスト | STN1013001 / DE-130A (Catioprost) | 緑内障・高眼圧症 | 自社 | 欧州 | | | | | | 2024年8月 |
| | | | | アジア | | | | 2024年11月 | | |
| プロスタグランジンF _{2α} 誘導体の緑内障・高眼圧症治療用乳化点眼剤。アジアで、2024年11月に販売承認を申請。欧州では、2024年8月にスペインなどで発売。 | | | | | | | | | | |

| 一般名 | 開発コード | 効能・効果 | 自社／導入等 | 地域 | フェーズ1 | フェーズ2 | フェーズ3 | 申請 | 承認 | 発売 |
|---|-----------------------|----------|------------|-----|-------|-------|-------|----|----------|----|
| ネタルスジルメシル酸塩 | STN1013900 / AR-13324 | 緑内障・高眼圧症 | Alcon Inc. | 日本 | | | | | | |
| | | | | 欧州 | | | | | 2023年2月 | |
| | | | | アジア | | | | | 2024年11月 | |
| ROCK（Rhoキナーゼ）阻害剤。米国では、Alcon Inc.が開発し販売中。日本で、2025年1月にフェーズ3試験を終了。欧州で、販売承認取得しており、2023年2月以降スウェーデンなどで発売。アジアでは順次販売承認を取得しており、2024年11月に韓国で発売。 | | | | | | | | | | |

| 一般名 | 開発コード | 効能・効果 | 自社／導入等 | 地域 | フェーズ1 | フェーズ2 | フェーズ3 | 申請 | 承認 | 発売 |
|--|---------------------|----------|------------|-----|-------|-------|-------|----|---------|---------|
| ネタルスジルメシル酸塩／ラタノプロスト | STN1014000 / PG-324 | 緑内障・高眼圧症 | Alcon Inc. | 欧州 | | | | | | 2023年1月 |
| | | | | アジア | | | | | 2023年1月 | |
| ROCK（Rhoキナーゼ）阻害剤及びプロスタグランジンF _{2α} 誘導体の配合剤。米国では、Alcon Inc.が開発し販売中。欧州で販売承認を取得しており、2023年1月以降ドイツなどで発売。アジアでは順次販売承認を申請しており、2023年1月以降タイなどで販売承認を取得。 | | | | | | | | | | |

<角結膜疾患（ドライアイを含む）領域>

| 一般名 | 開発コード | 効能・効果 | 自社／導入等 | 地域 | フェーズ1 | フェーズ2 | フェーズ3 | 申請 | 承認 | 発売 |
|--|----------------------|-------|--------|----|-------|-------|-------|----|----|---------|
| シクロスポリン | STN1007603 / DE-076C | 春季カタル | 自社 | 中国 | | | | | | 2022年4月 |
| 免疫抑制作用により、春季カタルの症状を改善する乳化点眼剤。カチオニック製剤技術により組織移行性を高めた製剤。欧州で、2018年10月以降順次発売。アジアで、2019年8月にIkervisの適応拡大として承認を取得以降、順次発売。中国で、2022年4月に販売承認を取得。 | | | | | | | | | | |

| 一般名 | 開発コード | 効能・効果 | 自社／導入等 | 地域 | フェーズ1 | フェーズ2 | フェーズ3 | 申請 | 承認 | 発売 |
|---|----------------------|-------|--------------------------------|-----|-------|-------|-------|----|----------------|----------|
| ジクアホソルナトリウム | STN1008903 / DE-089C | ドライアイ | Merck Sharp & Dohme Corp. (米国) | 日本 | | | | | | 2022年11月 |
| | | | | アジア | | | | | 販売承認を取得したが、取下げ | |
| 角結膜上皮からムチンや水分の分泌を促すドライアイ治療剤。持続製剤。日本で、2022年11月に発売。アジアでは、韓国で2024年3月に販売承認を取得したが、2024年8月に取下げ。 | | | | | | | | | | |

| 一般名 | 開発コード | 効能・効果 | 自社／導入等 | 地域 | フェーズ1 | フェーズ2 | フェーズ3 | 申請 | 承認 | 発売 |
|------------|------------|-------|---------------|----|------------|-------|-------|----|----|----|
| オロダテロール塩酸塩 | STN1014100 | ドライアイ | ベーリンガーインゲルハイム | 日本 | (フェーズ1/2a) | | | | | |

β₂受容体作動薬。日本で2024年3月にフェーズ1／2a試験を終了。

| 一般名 | 開発コード | 効能・効果 | 自社／導入等 | 地域 | フェーズ1 | フェーズ2 | フェーズ3 | 申請 | 承認 | 発売 |
|-------|------------|----------------|---------------|-------------------|-------|----------|-------|----|----|----|
| シロリムス | STN1010904 | フックス角膜内皮ジストロフィ | アクチュアライズと共同開発 | 米国 フランス インド | | (フェーズ2a) | | | | |

mTOR阻害作用によりフックス角膜内皮ジストロフィの症状を改善する懸濁点眼剤。2022年5月から米国、フランス、インドでフェーズ2a試験を実施中。（※開発コード（STN1010904）は、フェーズ2試験終了時に当社が独占的実施権を獲得した後に附番予定のコードです。）

| 一般名 | 開発コード | 効能・効果 | 自社／導入等 | 地域 | フェーズ1 | フェーズ2 | フェーズ3 | 申請 | 承認 | 発売 |
|-------|------------|------------|--------|----|-------|----------|-------|----|----|----|
| シロリムス | STN1010905 | マイボーム腺機能不全 | 自社 | 日本 | | (フェーズ2a) | | | | |

mTOR阻害作用によりマイボーム腺の機能を改善する懸濁点眼剤。日本で、2024年6月に追加のフェーズ2a試験を開始。

| 一般名 | 開発コード | 効能・効果 | 自社／導入等 | 地域 | フェーズ1 | フェーズ2 | フェーズ3 | 申請 | 承認 | 発売 |
|-----------|------------|-----------|-----------------|----|-------|-------|-------|----|----|---------|
| エピナスチン塩酸塩 | STN1011402 | アレルギー性結膜炎 | 日本ベーリンガーインゲルハイム | 日本 | | | | | | 2024年5月 |

ヒスタミンH₁受容体拮抗作用とメディエーター遊離抑制作用を併せ持つアレルギー性結膜炎治療剤。眼科用クリーム製剤。日本で、2024年5月に発売。

| 一般名 | 開発コード | 効能・効果 | 自社／導入等 | 地域 | フェーズ1 | フェーズ2 | フェーズ3 | 申請 | 承認 | 発売 |
|-----------|------------|-----------|---------------|----|-------|-------|-------|----|----|----|
| エピナスチン塩酸塩 | STN1011403 | アレルギー性結膜炎 | ベーリンガーインゲルハイム | 中国 | | | | | | |

ヒスタミンH₁受容体拮抗作用とメディエーター遊離抑制作用を併せ持つアレルギー性結膜炎治療剤。1日2回点眼の高用量製剤。中国で、2024年11月にフェーズ3試験を終了。

<屈折異常領域>

| 一般名 | 開発コード | 効能・効果 | 自社／導入等 | 地域 | フェーズ1 | フェーズ2 | フェーズ3 | 申請 | 承認 | 発売 |
|----------|---------------------|-------|-----------------------------------|-----------------|-------|-------|-------|----|----|----------|
| アトロピン硫酸塩 | STN1012700 / DE-127 | 近視 | Singapore Health Services社、南洋理工大学 | 日本 中国 アジア | | | | | | 2024年12月 |

小児における近視の進行を抑制する非選択的ムスカリン受容体拮抗薬。日本で、2024年12月に製造販売承認を取得。中国で、2022年6月からフェーズ2／3試験を実施中。アジアで、2020年4月にフェーズ2試験を終了。

| 一般名 | 開発コード | 効能・効果 | 自社／導入等 | 地域 | フェーズ1 | フェーズ2 | フェーズ3 | 申請 | 承認 | 発売 |
|----------|----------------------|-------|-----------|----|-------|-------|-------|----|----|---------|
| アトロピン硫酸塩 | STN1012701 / SYD-101 | 近視 | Sydnexis社 | 欧州 | | | | | | 2024年3月 |

小児における近視の進行を抑制する非選択的ムスカリン受容体拮抗薬。導入元であるSydnexis社により欧州及び米国でフェーズ3試験を実施中。当社は、欧州、中東及びアフリカ地域における独占ライセンス権を保有、欧州で2024年3月に販売承認を申請。

| 化合物名 | 開発コード | 効能・効果 | 自社／導入等 | 地域 | フェーズ1 | フェーズ2 | フェーズ3 | 申請 | 承認 | 発売 |
|------------|------------|-------|---------------|----------|-------|----------|-------|----|----|----|
| AFDX0250BS | STN1013400 | 近視 | ベーリンガーインゲルハイム | 日本 中国 | | (フェーズ2a) | | | | |

小児における近視の進行を抑制する選択的ムスカリンM₂受容体拮抗薬。特定のサブタイプを選択的に阻害するため、散瞳が抑えられる。日本で、2023年5月からフェーズ2a試験を実施中。中国で、2024年3月にフェーズ1試験を終了。

<その他の領域>

| 一般名 | 開発コード | 効能・効果 | 自社／導入等 | 地域 | フェーズ1 | フェーズ2 | フェーズ3 | 申請 | 承認 | 発売 |
|-----------------|------------|-------|-----------------------------|----|----------|-------|-------|----|----|----|
| オキシメタゾリン 塩酸塩 | STN1013800 | 眼瞼下垂 | RVL Pharmaceuticals 社 | 日本 | 2024年12月 | | | | | |
| | | | | 欧州 | | | | | | |
| | | | | 中国 | | | | | | |

直接作用型 α アドレナリン受容体作動薬。米国では、RVL Pharmaceuticals社が開発し販売中。日本で、2024年12月に製造販売承認を申請。欧州で、2024年12月にフェーズ3試験を開始。中国で、2024年10月にフェーズ3試験を開始。

■2024年度第2四半期決算発表時（2024年11月7日）からの変更点

| 開発コード | 変更点 |
|-----------------------|---|
| STN1011702 | 中国で、2024年11月にフェーズ3試験を開始。 |
| STN1013001 / DE-130A | アジアで、2024年11月に販売承認を申請。 |
| STN1013900 / AR-13324 | 日本で、2025年1月にフェーズ3試験を終了。 |
| STN1011403 | 中国で、2024年11月にフェーズ3試験を終了。 |
| STN1012700 / DE-127 | 日本で、2024年12月に製造販売承認を取得。 |
| STN1012701 / SYD-101 | 欧州で、2024年3月に販売承認を申請。 |
| STN1013800 | 日本で、2024年12月に製造販売承認を申請。 欧州で、2024年12月にフェーズ3試験を開始。 |

（4）設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費並びに研究開発費

■設備投資

（単位：百万円）

| | 2024年3月期 | | 2025年3月期 | |
|-----------|---------------|--------|---------------|-------|
| | 第3四半期 累計実績 | 通期実績 | 第3四半期 累計実績 | 通期見込 |
| 設 備 投 資 額 | 6,576 | 10,245 | 5,865 | 9,000 |

（注） 使用権資産の増加は除いています。

■減価償却費及び償却費

（単位：百万円）

| | 2024年3月期 | | 2025年3月期 | |
|-----------|---------------|-------|---------------|-------|
| | 第3四半期 累計実績 | 通期実績 | 第3四半期 累計実績 | 通期見込 |
| 総 額 | 4,593 | 6,279 | 4,965 | 6,800 |
| 製 造 経 費 | 2,460 | 3,426 | 2,963 | 3,990 |
| 販 売 管 理 費 | 1,684 | 2,270 | 1,596 | 2,190 |
| 研 究 開 発 費 | 449 | 583 | 406 | 620 |

（注） 製品に係る無形資産償却費、長期前払費用の償却費及び使用権資産の償却費は除いています。

■製品に係る無形資産償却費

（単位：百万円）

| | 2024年3月期 | | 2025年3月期 | |
|-----------------------------|---------------|-------|---------------|-------|
| | 第3四半期 累計実績 | 通期実績 | 第3四半期 累計実績 | 通期見込 |
| 総 額 | 7,083 | 9,471 | 6,638 | 8,800 |
| メ ル ク 無 形 資 産 償 却 費 | 4,356 | 5,808 | 3,698 | 4,817 |
| Rhopressa/Rocklatan 無形資産償却費 | 930 | 1,250 | 1,071 | 1,550 |
| ブリザーフロ マイクロシャント無形資産償却費 | 914 | 1,229 | 972 | 1,231 |
| Ikervis（アイケルビス）無形資産償却費 | 661 | 889 | 701 | 878 |
| そ の 他 | 222 | 297 | 196 | 324 |

■研究開発費

（単位：百万円）

| | 2024年3月期 | | 2025年3月期 | |
|-----------|----------------|--------|---------------|--------|
| | 第3四半期 累計実績* | 通期実績* | 第3四半期 累計実績 | 通期見込 |
| 研 究 開 発 費 | 18,208 | 25,416 | 16,773 | 27,000 |

*IFRS（フル）ベースの金額です。なお、2024年3月期第3四半期のコアベースの研究開発費は、米州の合理化に関する費用2億円を控除し、18,050百万円です。また、2024年3月期通期のコアベースの研究開発費は、米州の合理化に関する費用2億円を控除し、25,257百万円です。

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。